

■米国：ブルームバーグ元 NY 市長、石炭火力発電所の廃止等に 5 億ドルを資金提供

マイケル・ブルームバーグ元ニューヨーク市長の財団である Bloomberg Philanthropies は 2019 年 6 月 7 日、2030 年までに米国内のすべての石炭火力発電所の閉鎖や天然ガス火力発電所の新設を止め、100%クリーンエネルギー経済を目指すために、ブルームバーグ氏が取り組む新たなキャンペーン「Beyond Carbon」に 5 億ドルを寄付すると発表した。ブルームバーグ氏は 2019 年 3 月 5 日、2020 年の大統領選挙への不出馬を表明した際、こうした 100%クリーンエネルギー経済を支援するための活動を行うことを宣言していた。なおブルームバーグ氏は 2018 年 3 月、国連事務総長の国連気候変動対策特使に任命され、気候変動に関する取り組みを積極的に行っている。また Beyond Carbon は、州政府および地方都市と協力して、100%クリーンエネルギー法、気候汚染を段階的に抑制するための目標とスケジュール、電気自動車の普及促進などを進めていくとしている。現地では、ブルームバーグ氏と Beyond Carbon は、2020 年の大統領選挙でのトランプ大統領の再選を阻止し、新たな政権によるクリーンエネルギー政策の実行を盤石にしていくため、クリーンエネルギーを優先する地方議員やその候補者等に対して、資金面での支援等も行っていくと報じている。